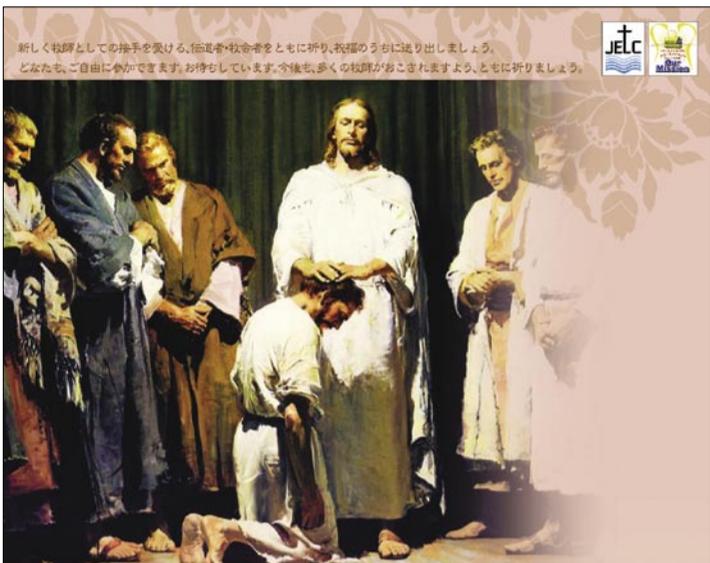


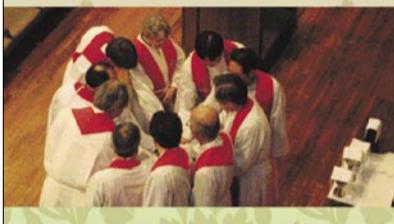
# 教職授任按手式礼拝

今年も3月9日午後7時より東京教会にて教職授任按手式が執り行われ、5名が按手を受ける予定です。

どうぞご参集ください。お祈り下さい。



2008年度日本福音ルーテル教会  
**教職授任按手式礼拝**  
 2008年 3月9日(日)午後7時~  
 宣教百年記念東京会堂(東京教会)



日本福音ルーテル教会の牧師として、次の5名が協議委員会の決定の後、按手及び派遣される予定です。

池谷考史 (板橋教会出身)  
 木下理 (松橋教会出身)  
 佐々木赫子 (函館教会出身)  
 光延博 (久留米教会出身)  
 室原康志 (神水教会出身)



みつ のぶ ひろし  
**光延 博**  
 久留米教会 出身

「すべての人にインマヌエル」。これは私の母教会である久留米教会の標語です。この言葉を覚え、主の福音に皆さまと共に与っていきたいと思います。これまでの皆さまのお支えを心より感謝申し上げます。



むろ はら やすし  
**室原 康志**  
 神水教会 出身

宣教の海原に出航する準備として、神学校という防波堤に守られた中で研鑽してきました。まもなく外洋へ出航しますが、主の示す太陽、聖書という海図、信仰という灯台を読み違えないように、慎重かつ大胆に航行してまいります。



い け や た か ふ み  
**池谷 考史**  
 板橋教会 出身

私は、教会に導かれてすぐに人の勧めで受洗、その後教会生活が途絶えもしましたが、再び教会へと呼び戻され、今、教会に仕える者とされました。主の導きには必ず豊かな実りがあるものです。皆さん、主の業に期待しつつ、共に歩んでいきましょう！



きの した お さ む  
**木下 理**  
 松橋教会 出身

私は、ルーテルアワーを聴いて教会を訪ね、洗礼を受けました。取るに足りない私を、神様が憐れんでくださっていることを、実感しています。神様の憐れみを福音として宣べ伝えてまいります。



さ さ き か く こ  
**佐々木赫子**  
 函館教会 出身

あなたのなすべき事を主にゆだねよ、  
 そうすれば、あなたの計るところは必ず成る  
 (箴言 16章3節 口語訳)

神様の導きに従い、イエス・キリストが先立って歩まれた福音宣教の足跡を踏みしめ従っていきます。主の僕の働き手として精一杯用いていただけるよう祈りつつ「交わり」の中で前進してまいります。

2008年  
**JELC** 2月  
 No.722

■発行所■  
 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
 電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■  
 00190-7-71734

■ウェブサイト■  
<http://www.jelc.or.jp>

■E-mail■  
[jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人■  
 佐藤 和宏 [koho01@jelc.or.jp](mailto:koho01@jelc.or.jp)

■印刷人■  
 精文堂印刷株式会社 (定価1部40円)

## CONTENTS

目次

- 1 | 教職授任按手式礼拝 『桃栗三年、愛何年』
- 2 | 牧師の声・信徒の声 東洋と西洋の対話⑩
- 3 | 信仰の学び、養いを生涯続ける⑩ 神学生寮の思い出 クリスチャンのライフカレンダー LAOS 講座
- 4 | 各地のニュース 募集(セミナー参加者募集 CS カードイラスト募集、他) 集計表提出のお願い おわび、神学生寮完成 Teens キャンプのお知らせ 連帯献金報告

福音版

- 1 | バイブルメッセージ 出会い
- 2 | 大人を育てる絵本からのメッセージ HeQi Art 聖書物語 たろこまま「いのちを語る」



娘が「たたいま反抗期」です。この時がなくても困りますが、人間の成長って不思議です。などと、余裕があるようにみえますが、実際は親と子の真剣勝負、格闘の毎日です。大きな心で受け止めようとするのですが、親も人間、カッときます。娘も自分ではどうすることもできないのでしよう。この状態が何年続くのか。

「私は愛されてない」の連続。親の愛を確かめたいのでしよう。娘をみていると、自分も神様に同じことをしてきたと思います。神様が、こんな私を本気で受け止めてくださったからこそ、神様の愛を知ることができました。娘にも「ごんごん反抗しなさい。親の愛を確かめなさい」とそんな気持ちですが、現実にはなかなか……。人にはどうすることもできない苦しみがあります。でもイエス様の十字架を見上げるとき、大きな愛に包まれていることがわかります。反抗してはじめて愛の実がわかるかも。

桃栗は三年で成長し実をつけるといいですが、人が愛の実を確かめるには永遠の年が必要かも。

(柿のたね)



# 信仰の学び、養いを生涯続ける

## 第11回 今の時代の「信仰問答」を！

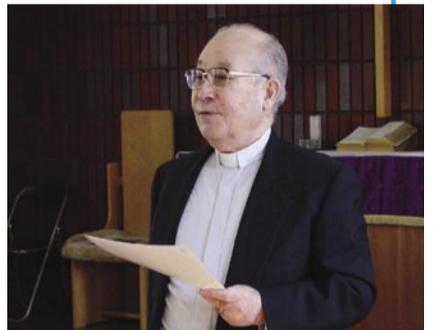
### 身近な試み、身近な関心

小教理問答など、信仰問答、信仰教育の意味に注目して身近でこれに取り組もうとしている、われわれの仲間がいます。羽村教会の高井保雄牧師は早くからこれに関心をもちました。数年来小教理問答を交読文の形にしたものを作成し、実践を試みているということです。生活の中心になるべき礼拝の中で、これを生かそうということです。日田教会の宮澤真理子牧師は先年立教大学に提出した修士論文において、これまでのルーテル教会の取り組みを紹介した上で、時代に即した信仰の生涯教育の必要性を訴えて、その試案を提示しました。自分が内海望牧師から聞いた、たいした洗礼準備の教育が自分の原点だと言いつつ、自らこれに励む滝田浩之牧師もいます。私のルターの講義を20年以上聴き続けている、車椅子の崎村ナナさんもその一人、信仰の基本を自分なりにしっかりと身につけて、これにルターの信仰の学びを重ね合わせているよう

す。これらはほんのいくつかなの実例に過ぎないでしょう。自分の試みや、自分の経験を私に知らせてくださいませんか。

### 世界の試み

世界では1970年代にオランダのカトリック教会が出版した大冊の信仰教育の本が話題となりました。カトリック教会では進歩的に過ぎるという問題になりましたが、私たちから見れば、大いに学ぶところがありました。このモデルに注目して、幼児の絵本から、少年向けの堅信教育、信徒向けの、電話帳のように分厚い「信仰の交通案内」、その手頃な縮刷版という具合に、いわゆる「カテキズムファミリー」を出版したのはドイツのルーテル教会でした。分厚い本が予期に反して何十万部と売れて、人びとの「トド」に応えたことを実証しました。この縮刷版を基にアメリカで出版された、ペーパーバックのThe Evangelical Catechismも今に至るまでヒットしていると聴きます。1980年代は、世界の各地、各教派でこうした信仰問答の現代的な試みの花盛りになりました。



ルーテル学院大学・神学校名誉教授 徳善 義和

### さあ、日本のルーテル教会で

山内六郎牧師の『信仰の手引き』で学んだ人も多いでしょう。私も1960年代、同年輩の牧師たちと共同で、『キリスト教入門』と『信仰入門』を出したことがありました。『小教理問答』を、子供の問い、父親の信仰告白の答えとして翻訳してみた試みもあります。PM21も、そうした信仰教育の実践の中に位置付けられるでしょう。さあ、21世紀初頭の日本のルーテル教会の「信仰問答」を書く人が出てくなくてはなりません。これもやはりチームの仕事になるでしょうか。

の学びを重ね合わせているよう

す。これらはほんのいくつかなの実例に過ぎないでしょう。自分の経験を私に知らせてくださいませんか。

山内六郎牧師の『信仰の手引き』で学んだ人も多いでしょう。私も1960年代、同年輩の牧師たちと共同で、『キリスト教入門』と『信仰入門』を出したことがありました。『小教理問答』を、子供の問い、父親の信仰告白の答えとして翻訳してみた試みもあります。PM21も、そうした信仰教育の実践の中に位置付けられるでしょう。さあ、21世紀初頭の日本のルーテル教会の「信仰問答」を書く人が出てくなくてはなりません。これもやはりチームの仕事になるでしょうか。



### 葬儀—復活の光の中で—

〇さん。主の平安を祈ります。

すべてを失った悲しみの中でヨブが告白しているように、人は「裸で母の胎を出て、裸でかきこに帰ってゆく」存在です。ここにすべてがあります。「今日は死ぬのにもってこいの日」という言葉が米国先住民にあるそうです。終わりを意識する時、今この一瞬がかけがえのないものとして輝いてくるのです。

主の墓が空だったように墓は私たちの終着駅ではありません。死とは真の命に入るための狭き門です。復活の光の中に私たちはすべてを見ることが出来ます。おっしゃる通り、キリスト教の葬儀が「不思議に明るい」のはそのためです。

葬儀は故人の生涯が神のみ手の内にあったことを感謝し記念する礼拝です。同時に悲しむ者にとってはグリーンワーク（死の悲しみからの癒し）の役割も果たします。愛唱讃美歌や聖句を含め自分の葬儀について牧師に相談される方もおられます。安心して自分の最後を託せる教会があるということは慰めに満ちていますね。

# 神学生寮の思い出

学生時代の思い出は沢山ありますが、そのなかでも寮生活は特別です。大学入学から神学校卒業までの7年間お世話になりましたので。これは、女子学生としては最長記録かもしれないですね。ほとんどの学生は4年以内で卒業するものから（笑）。ひととき生活を共にした仲間たちは、先輩も同期も後輩も今でも懐かしく姉妹のように大切な人々です。

残念だったことは、男子寮には祈祷室がありませんでしたが女子寮にはそれが無かったことです。あるとき、後輩の一人が「聖書を読みたい」と言ってくれたことがきっかけで、私の部屋で聖書日課の集いというものを始めることになりました。開始時間は門限から5分後。数人でその日の日課や好きな聖書の箇所を輪読するだけだったのですが貴重な時間だったと思います。誰にでも人生について深く考えたり、悩んだり苦しんだりする時があると

思います。そのような時に、誰かと一緒に神さまのメッセージに耳を傾ける機会が与えられたことは私自身にも良い経験でした。しかし、個人の部屋で行っていたので閉鎖的なイメージもあったかもしれないなあ、と久しぶりに思い出して感じています。

新しい寮には祈りの空間や団欒のスペースも十分に確保されているようですね。また、相談相手もい存在もあるようです。知的な研鑽だけでなく生活や心の境となることを期待しています。

札幌教会  
スオミ礼拝堂  
札幌北礼拝堂  
新札幌礼拝堂

岡田 薫

### ■募金活動にご協力下さい■

従来の寮棟を『ルターホール』と名称を変え大改修します。この事業にご理解いただき、ぜひとも募金にご賛同、ご協力お願いいたします。

募集期間 2007年4月～2009年3月  
送金先 学校法人 ルーテル学院  
取扱機関 郵便振替口座 00140-2171183  
(所定の郵便振替用紙をご利用下さい)  
銀行口座 三菱東京UFJ銀行三鷹支店  
普通口座 4126089

名 義 学校法人 ルーテル学院  
【お問い合わせ】  
ルーテル学院大学・神学校後援会 (0422-31-4611)  
教会事務局 (03-3260-8631)

刈谷教会では「宣教50周年記念日」(04.3.14)へ向けて「地域に開かれ根付き、個性に輝く教会」を目指して4年企画の「宣教方策」構築作業と並び、「語ろう会」(10回)を名古屋、西三河の信徒の方々と共に開講した。このほど復版になった拙著『牧会者ルター』(02年)、「説教作法 その聴き方、話し方」(03年)、「宗教のゆくえ 脱宗教化時代の宣教」(04年)と語り合っていた。そこへ『LAOS講座』の開講が重なるという絶好の機会に恵まれた。この機会に恵まれた。

時の課題「教会共同体」形成ということもあって、まず、第7号『宣教と奉仕の理論と実際』の学習で始めた。毎月第3主日礼拝後の恒例「茶話会」において、順番で信徒が発題し、20～30分間の連続講座が生まれた。次いで第8号『この世を生きる』を取上げ、『真理を求めて』の第3号に至り、『神の民の歩み』(5号)、『いなご豆の木』(6号)へと継がれて来ている、常に『信徒として生きる』ことを自覚しながら。



LAOS講座(全9巻)

## 「脱宗教化時代」の見事な「宗教教育プログラム」(2)

石田 順朗

※執筆者によるLAOS講座は、jelic TVで御覧いただけます。  
URL <http://jelic.tv/>

**ルターホール改修** / 神学生寮設置

ルターホール改修 / 神学生寮設置には、皆様のお祈りとお支えをいただき、昨年12月26日に工事が完了しましたことを感謝をもってご報告します。

今後の予定は2月26日午後3時半より、聖別式が関係者と共に執り行われます。聖別式にはお支えくださった皆様にもお越しいただきたいところですが、様々な事情から関係者とさせていただきますことをお許しください。

また、4月14日(月) 正午の通常のチャペル礼拝の時間に感謝礼拝を学生と共に守ります。

昨年4月よりお捧げいただいておりますルターホール改修 / 神学生寮設置募金には、全国の教会・団体、あるいは個人として皆様から献金が寄せられました。2007年12月末現在で約444.8万円(目標の49%)に達しました。募金は2年間で9000万円達成を目指し、来年3月まで続けますので、さらなる献金をお願いいたします。

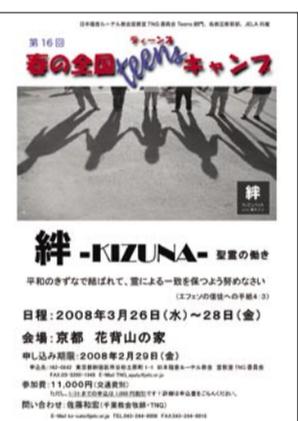


神学生寮を含めてルター学院を身近に知っていただくために3月の教区総会でのアピールの他、5月の全国総会初日を三鷹のチャペルと校舎を使って開催することにいたしました。それが募金運動後半への弾みになることを願っています。

**Teens キャンプ**

来年の春の全国ティーンズキャンプ(春キャン)は、次の通り開催されますので、お誘いください。お祈りください。

日程 2008年3月26日(木)~28日(金)  
会場 京都・花背山の家  
主題 絆-KIZUNA- 聖霊の働き  
申込 2008年2月末日  
(1月末日までの申込者は参加費が割引となります)  
TNG\_apply@jelc.or.jp(e-mail)  
03-3260-1948(FAX/ 宣教室)  
問合せは、佐藤牧師(千葉教会)まで。kz-sato@jelc.or.jp



**連帯献金報告**

2007年12月末現在の連帯献金について、次のご報告いたします。たくさんのご協力ありがとうございました。

- 2007年連帯献金**
- ブラジル伝道 25万1290円
  - 日米協力伝道(21件) 7万7000円
  - メコン宣教支援(24件) 22万3000円
  - インシテラテラ難民(1件) 1万円
  - パレスチナ難民(29件) 20万2170円
  - 災害緊急支援(5件) 16万2272円
  - 世界宣教(104件) 293万6957円
- 献金者・団体(芳名)**  
(敬称略・順不同)
- 【教会】  
京都長野 津田沼 大岡山 知多、東京池袋、松江、神水、藤が丘、大江、日田、藤が丘、刈谷、鉾、路、帯広、箱崎、蒲田、日吉、市ヶ谷、広島、下関、東京、武蔵野、本郷、西条、保谷、板橋、別府名
- 【個人】  
牧之瀬恭子、古川文江、角田健、大金よし子、増野肇、吉田
- 【その他団体】  
本郷学生センター、九州学院、中高校生教職員、めばえ幼稚園、知多教会、大森ルーテル幼稚園、蒲田教会、バザール、箱崎教会、S、恵泉幼稚園、箱崎教会、コンサート、日本福音ルーテル社、蒲田ルーテル幼稚園、年長組、母ルーテル幼稚園、蒲田ルーテル幼稚園、唐津ルーテル子どもの教会、国府台保育園、恵泉幼稚園保護者会
- 【各指定項目合計に世界宣教、無指定分を配分させていただきました。次のようにお送りさせていただきます。】
- ブラジル伝道 118万2780円
  - 日米協力伝道 100万56円
  - メコン宣教支援 33万5800円
  - インシテラテラ難民 1万円
  - パレスチナ難民 50万28円
  - 世界宣教 40万4154円
- 年末送金時に間に合わないものは2008年分に繰り越します。ご了承下さい。  
事務局からの海外送金は12月28日を目途にしております。それまでにお届けいただけば、すぐに「意思をお届けできますので、あわせてご理解下さい。また名義に関しては、献金いただいた当時の名義を掲載しております。

**各地のニュース 日米協力伝道 (JACE)**

JACE(日米協力伝道)の協約に基づいてJELCから日本人牧師が派遣され、カリフォルニアのハンティントンビーチとトルランスで日本語礼拝が持たれています。

復活ルーテル教会(LCR)とファーストルーテル教会(FLC)の礼拝のレギュラーはそれぞれ20~25名と13、4名の現状ですが、成長にむけて努力しています。伊藤文雄牧師が両教会の兼任牧師です。2008年からはこの兼任システムが正式に動き出し、合同委員会が選出されます。

詳しい働きは [www.jelc.com](http://www.jelc.com) で見る事ができます。

※[注]  
LCM = Lutheran Church of the Resurrection  
FLC = First Lutheran Church

**募集**

**APELT-J タイ研修セミナー 2008 参加者募集**

■日 時: 2008年3月24日(月)~3月31日(月)  
■募集対象: 中学生、高校生、青年、神学生  
■参加費: 50,000~70,000円程度を予定(詳細は、後日)  
■目的: “バンコクのスラムの現状を知る” “タイのクリスチャンとの心の交流” “歴史を振り返りながら現代におけるアジアにおける日本の役割を考える”  
■問い合わせ・申し込み  
APELT-J 担当 大柴譲治(武蔵野教会)  
TEL: 03-3330-8422/FAX: 03-3330-8445/e-mail: joshiba@jelc.or.jp  
■申し込み締め切り 【2月15日】

**TNG 子ども部門 CS カード イラストレーター募集**

毎主日ごとのみ言葉にあわせたカードのイラストを描くCSカードのイラストレーターを新規募集します(若干名)。プロ・アマは問いません。

■募集人員: CSカードイラストレーター  
■選考方法: 指定した聖書のみ言葉をもとにイラストを描いて送ってください。担当者が選考します。  
※イラストに関する詳細は問い合わせ先までお願いします。

■募集期間: 2008年2月1日~29日  
■申し込み: 162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1 日本福音ルーテル教会 宣教室 TNG 子ども部門 CS カードイラストレーター募集係  
※データ入稿の場合は t-koizumi@jelc.or.jp (小泉嗣)まで  
■問い合わせ: TNG 子ども部門 担当: 小泉嗣(小田原教会) TEL: 0465-47-4416

**式文委員会と讃美歌委員会からのアンケートのお願い**

昨年末と年明けに、それぞれの委員会よりアンケートが各教会にメールにて送られました。常議員会で任命されたそれぞれの委員会が、学習会や周知活動、そして次期改定に向けての検討作業を始めています。

締め切りは2月10日で集計表と同じに設定されています。特に讃美歌委員会のアンケートは、各教会の奏楽者のご意見も募集しています。ご協力を宜しく願います。アンケートや送付先は下記インターネットからもご覧いただけます。  
<http://www.jelc.net/~pm21/download/index.html>  
よろしくおねがいします。

**教会音楽祭 詞の募集**

第28回教会音楽祭実行委員会は、次の要領でテーマ曲の詞を募集します。  
テーマ「わたしたちを誘惑におちいらせず、かえって悪からお救いください」(仮)  
締切 2008年4月末日(当日消印有効)  
詳細は次号掲載予定です。お問合せは、東教区教育部・佐藤(千葉教会)まで。

**るうてるモニター募集**

本紙を読んでいたって、アンケートに答えていただける方を募集中です。アンケートはメールかFAXで行っております。やってみようかな? 「るうてる」に言いたいことがある! という方はe-mail: ruuteru@jelc.or.jp か FAX: 03-3260-1948 までお問合せください。

**集計表提出のお願い**

本教会提出の集計表を期日までに提出してください。一教会でも遅れますと全体の集計ができなればかりが関係省庁への報告にも影響が出ます。また、報告書は電子メールでの提出をいただきます。事務作業の軽減はかりでなく、間違いを防ぐことにもなります。

報告書と共に、教会総会資料をお送りください。

**提出期限**  
2月10日

**その他報告書**

**おわび**

本紙2007年12月号の本欄に「牧師の倫理問題について」と題する一文が掲載されましたが、言葉足らずであったために、様々な憶測を招いてしまいました。ことに對して、おわびを申し上げます。今後とも、日本福音ルーテル教会の教職・信徒の一体となった宣教の働きの上に、神様の御祝福が豊かにありますように。

総会議長  
山之内正俊